



テーマ:行政・企業との協働～ボランティア活動を通して～

カテゴリー:④連携

学校概要:(学校名)パナソニック健康保険組合立松下看護専門学校

(所在地)大阪府守口市早苗町 7-10

(課程)3年課程 1学年定員:40名 修業年限3年



【はじめに】

当校は、パナソニック健康保険組合を設置母体とする大阪府守口市にある唯一の看護学校です。地域との関わりを大切にしたカリキュラム編成を行っており、看護学生としての力を活かし、地域や社会へ貢献できるよう課外活動にも積極的に取り組んでいます。今回、行政や企業と協働したボランティア活動を実施する機会を得ました。ボランティアの依頼を受ける背景には、地域貢献や啓発活動において看護学生の力が有効であり、専門性や若い世代ならではの発信力が期待されていることが挙げられます。行政や企業との取り組みは、企画や運営、社会人としての責任ある行動を経験し、より実践的な力を身につけることができます。看護学生にとって、地域社会システムを支えている人々の中に入り、その一員として活動に参画しながら地域や社会の課題やニーズに直接触れることで、健康や生活に関わる問題を現実的に理解することができます。また、自らの専門性や役割を意識しながら行動する力が養われます。こうした経験を通じて、学生は地域社会を支える一員としての自覚を持ち、将来の看護実践につながる視点や能力を身につけることができます。

【活動の実際】

●守口保健所

・HIV・性感染症 PR 動画作成・出演

性感染症は感染しても自覚症状がない場合が多く、予防と早期発見・早期治療の重要性が高まっています。このような状況を受け、保健所から共同で啓発事業を実施する提案を受けました。はじめに、保健所が学生を対象に性感染症に関する意識や知識の聞き取り調査と性教育講座を行いました。これをきっかけに、学生は性感染症に関する啓発活動へ主体的に取り組みたいという意欲を持つようになりました。そこで保健所と連携し、HIV・性感染症検査の受診促進を目的とした啓発動画を制作しました。制作では、学生が企画段階から参加し、出演やナレーションも担当することで、医療専門職を目指す立場から情報を発信しました。完成した動画は、大阪府ホームページのほか、ショッピングセンターや保健所のデジタルサイネージなどで配信され、地域住民への啓発に広く活用されています。



・大学学園祭における保健所出店ブースでの啓発活動

着ぐるみでのPR活動、HIV・性感染症に関するアンケート協力依頼しコンドームの配布、レッドリボンクリスマスツリー制作のサポートを行いました。若年層へHIV・性感染症予防や検査の啓発活動は行政単独では到達しにくい同世代の若年層へのアプローチをすることに力を発揮しました。

●守口市役所

遊びや体験、ステージ発表などを通して地域の子どもたちが主役になって楽しめるイベント「守口こどもまつり」(共催:守口市・守口市青少年指導員連絡協議会)において司会進行という中心的役割を担い、学生が地域社会の運営主体の一員として活動しました。本校の司会は毎年2年生が行っており8年ほど続いています。



●製薬会社

百貨店でのイベント「体験型見る知るプロジェクト in 守博」と「SDGs 食育フェスタ」の企業ブースで、防災や食育への意識向上に取り組みました。防災体験型企画では子ども向けクイズや保存食の配布を行い、楽しく学べる場を提供しました。

ボランティア活動を通して、学生は地域社会や行政・企業と協働しながら主体的に学び、看護師として必要な力を身につける機会となっています。また、社会の課題への理解を深め、地域社会のニーズに応える経験は、学生の「もてる力」を最大限に発揮する機会となり、多くの人々の健康と福祉への貢献の一助となります。そして、このような取り組みは学生の成長だけでなく、学校全体の価値向上にもつながっています。今後も地域や行政・企業との関わりを大切にし、「地域の健康づくりに貢献する看護学校」として信頼され、必要とされ続ける存在でありたいと考えています。